

# 令和6年度の主な事業

# 令和6年度の主な事業

事業名	ラグジュアリーツーリズム推進事業	事業費	3,528千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(3) 富裕層の誘客に向けた観光プログラムの造成，磨き上げを進める		

## 事業目的

富裕層旅行者（高付加価値旅行者）の誘客に向け，令和4年度より中国をターゲットとし，現地富裕層・旅行会社の招請や市内観光関係者との意見交換会の実施等による観光コンテンツやモデルコースの造成，情報発信および旅行商品の販売を行ってきたところである。

富裕層旅行者は単に贅沢や豪華を求めるといふより，本物志向で上質なサービス，体験を求める傾向があるため，それに対応すべくサービスを支える人材の確保・育成を目指すとともに，効果的なプロモーションを官民一体となり実施することで誘客を図る。

## 事業内容

### ■中国富裕層向け旅行プロモーション事業

ターゲットとするミドルレンジの富裕層は，富裕層コミュニティでの情報入手が多く，一般に流通するSNSやインターネット等をあまり見ないため，函館の情報について不足している。ミドルレンジ富裕層を顧客とする現地旅行会社において函館の詳しい情報が不足しており，富裕層向け旅行商品の造成が進んでいないため，これまで造成した中国人富裕層向け観光コンテンツ等を活用し，旅行会社，ミドルレンジの富裕層を集めたBtoBおよびBtoCプロモーションを中国現地で実施する。

#### (1) 現地BtoBセールスコール

8月21日 北京市内 富裕層向け旅行会社4社

8月23日 上海市内 富裕層向け旅行会社4社

#### (2) 現地BtoCセミナー

8月24日 上海市内 富裕層18名参加

## 今後の方向性

高付加価値旅行者の誘客や観光地づくりに向けて，必要となるより効果的な施策を実施する。それらの施策全体としての効果の把握・検証を通じたPDCAサイクルを構築する。

# 令和6年度の主な事業

事業名	広域周遊観光・AT促進事業	事業費	4,069千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(3) 富裕層の誘客に向けた観光プログラムの造成，磨き上げを進める		

## 事業目的

アドベンチャートラベルの受入環境整備および新規コンテンツ造成の支援により，函館市におけるAT普及促進を図り，宿泊日数の増加や一人当たりの観光消費額の促進につなげる。

## 事業内容

### (1) 道南事業者を集めたワールドカフェ交流事業

- ・内容：アドベンチャートラベル普及促進のための事業者交流会の開催
- ・対象者：ガイド事業者，観光関連事業者
- ・回数等：1回，20～30名程度

### (2) 救命資格取得サポート事業

- ・内容：Wilderness Medical Associates Japan アドバンスレベルコース招致開催
- ・対象者：ガイド事業者
- ・回数等：1回，15名程度

### (3) AT体験会事業

- 人材育成のためのスキルアップ体験会
  - ・対象者：道南在住の高校生以上
  - ・回数等：10名×10日間
  - ・内容：ガイド育成を兼ねた体験会

### ■学校教育・教育旅行関係者体験会

- ・対象者：市内学校教育関係者等
- ・回数等：20名×4回
- ・内容：教育旅行を想定した団体ツアー体験会

### (4) 先進地視察

北海道AT先進地・釧路阿寒エリアの視察

### (5) プロモーション

ワーケーション展示会（東京）でのPR

## 今後の方向性

ガイド人材育成やATに関する講演会・勉強会の実施を継続するとともに，ツアーオペレーターの設置・AT拠点の整備の実施について検討。

また、函館市のみならず、道南地域と連携したガイドの育成やはこぶらを活用した情報発信も検討。

# 令和6年度の主な事業

事業名	アメリカ市場プロモーション事業	事業費	3,000千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(4) 欧米向けプロモーションの強化		

## 事業目的

欧米向けプロモーションの強化に向け、令和5年度にアメリカ市場の動向調査を実施。現状「北海道」の認知度は低く、「函館」はさらに低いことから、函館市単独でのPRではなく、北海道観光機構が設置している北海道観光レップ（米国・ロサンゼルス）の活動とともにプロモーションすることで、より効果的かつ安価に、函館へのアメリカ人旅行者誘致のためのセールス活動や函館の最新観光情報の提供等の誘致プロモーションを実施する。

## 事業内容

### (1) 旅行博出展

- ・名称：Los Angeles Travel & Adventure Show
- ・内容：米国西海岸最大規模のBtoC旅行博に北海道観光機構と共同出展し、函館へのアメリカ人旅行者誘致のためのセールス活動や最新観光情報の提供、誘客プロモーションを行う。

### (2) 商談会出席

- ・内容：函館を含む商品の造成を図るため、米国内で開催される観光商談会に日本側サプライヤーとして北海道観光レップにPRを代行させ、海外バイヤーへ函館の魅力を伝え、誘客に向けた商談を実施する。

### (3) 現地旅行会社・メディア等への営業活動

- ・内容：現地旅行会社、主要メディア、業界キーマン等に対し営業活動を行う。
- ・件数：10社

### (4) 情報発信

- ・内容：ニュースリリースにより、旅行会社や旅行関連メディア、現地マスコミ等へ情報発信を行う。
- ・回数：2回

### (5) 情報収集・分析

- ・内容：訪日旅行に関する市場のニーズや動向等の情報収集と詳細な分析、考察を行い、書面での報告を毎月実施する。

## 今後の方向性

北海道観光レップと連携し、営業活動等で得られた情報やネットワークにより、本市の認知度向上に向けたより効果的な観光プロモーションを継続していく。

# 令和6年度の主な事業

事業名	「イーストジャパン・キャンペーン」推進事業	事業費	3,000千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(5) 消費額の高い訪日外国人観光客の誘客		

## 事業目的

羽田・成田の両国際空港を利用するアメリカをはじめとする英語圏の個人旅行客を主なターゲットとし、京都・大阪などのいわゆるゴールデンルートから、東北・函館エリアへの誘客を目的とする。

## 事業内容

函館市、JR東日本、JR北海道、(一社)東北観光推進機構および東北・北海道新幹線沿線自治体(青森市・八戸市・盛岡市・仙台市)の連携により、当該観光地の魅力を海外観光客に発信するとともに、新幹線の利用を想定した周遊ルートの造成や商品販売により、誘客促進を図る。

### (1) 観光コンテンツの造成および販売

- ・コンセプト：初めて当該地を訪れるターゲットに訴求するよう定番観光地を磨き上げる。
- ・造成数：5(函館市：1)

### (2) PR用動画とパンフレットを多言語で制作

- ・動画本数：2本(3分：1本, 30秒：1本)
- ・印刷部数：13,000部(函館市：2,000部)

### (3) インフルエンサー招請

- ・時期：11月11日(月)～11月16日(土)
- ・招請人数：2名

### (4) WEB広告

- ・内容：Facebook広告, Instagram広告, Google広告
- ・広告掲出先：未定

### (5) 海外観光客や旅行エージェントへのプロモーション

- ・内容：欧米で開催される旅行博でのパンフ配布・動画放映
- ・商談件数：6件

## 今後の方向性

継続したプロモーションの実施により、東北・函館エリアへの誘客を図る。

# 令和6年度の主な事業

事業名	観光ポータルサイト「はこぶら」関係経費	事業費	22,374千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(6) 観光消費の拡大に向けた適切な情報発信		

## 事業目的

函館市公式観光情報サイト「はこぶら」や各種SNSにて、国内外の観光客に向けて有益な情報を発信し、函館市への誘客に繋げ、観光消費の促進を図る。

- 【参考】
- ・H20.12.31 サイト開設（サイト構築：公立はこだて未来大学）
  - ・R5.3.15 リニューアルサイト公開

## 事業内容

### (1) 日本語サイトの運営

- ・特集記事作成
- ・新着情報、イベント情報の発信
- ・掲載情報の更新

### (2) 外国語サイトの運用

- ・記事コンテンツ制作
- ・ニュース記事作成

### (3) SNS運営

- ・X（旧Twitter）
- ・Facebook
- ・Instagram
- ・Weibo

### (4) マーケティング分析

### (5) セキュリティ・SEO対策

### (6) 災害等発生時における情報発信

## 今後の方向性

マーケティング分析の結果を踏まえ、サイトや各種SNSなどの発信媒体に応じた効果的な情報発信に努める。

# 令和6年度の主な事業

事業名	オーバーツーリズム対策事業費	事業費	21,600千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(7) 函館観光の利便性を高める取組み		

## 事業目的

夜景時間帯に発生している函館山周辺の混雑緩和を図り、函館観光における利便性を高め観光客の満足度の向上を図る。

## 事業内容

### (1) 函館山山麓夜間コンテンツ造成事業

比較的使用が少ない20時以降の利用を促進するために、夜景観賞と夜の街めぐりをセットにしたコンテンツを造成し、利用時間帯の分散化と、山麓地域の夜間の消費拡大を図る。

■ 「ゆったり夜景とヨルめぐり」 ※実施期間：8月～9月

- ① ライトアップ施設を巡る街歩き【夜景観賞前】  
20時:まちづくりセンター⇒21時:ロープウェイ山麓駅
- ② 函館山の麓でカフェ・バー巡り【夜景観賞後】  
20時以降の函館山ロープウェイのチケット提示で、各店でお得なサービスを受けられる。
- ③ ホームページ開設（函館山ロープウェイ公式HP内）  
URL：<https://334.co.jp/yoruno-machimeguri/>
- ④ プロモーション映像の制作(1：30動画2本，30秒1本)  
配信方法：ロープウェイHP，函館市電，観光案内所



### (2) 函館山混雑状況配信システム導入

山頂展望台や山麓観光駐車場、函館山登山道などにカメラを設置し、Webや主要拠点に設置したデジタルサイネージで出発前の観光客に混雑状況を配信することで、利用時間帯の分散化を図る。

年内に運用開始予定。



## 今後の方向性

函館山の混雑状況を発信することで、利用時間帯の分散化を図るとともに、函館山山麓地域にある観光スポットや飲食店等に誘導し、混雑緩和を図っていく。

# 令和6年度の主な事業

事業名	「函館×名探偵コナン」特別イベント開催負担金	事業費	14,000千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(11) 多様なニーズに対応したコンテンツ		

## 事業目的

函館を舞台とする劇場版『名探偵コナン 100万ドルの五稜星（みちしるべ）』の公開時期に合わせ、同作品とタイアップした各種企画を函館市内で展開することにより、地域の賑わいを創出するとともに作品のファン層を中心とした誘客および観光消費の促進を図る。

## 事業内容

函館国際観光コンベンション協会、函館商工会議所、JR北海道および函館市の4者で官民協働の実行委員会を設置し、令和6年4月12日から9月30日までの期間で「函館×名探偵コナン」特別イベントを実施中。

イベント開催経費（総事業費見込：約36,000千円）は、実行委員会の各構成団体からの負担金および地元企業等からの協賛金等（現物協賛を含む。）により確保。

（市負担金額：24,000千円 ※令和5年度 10,000千円、令和6年度 14,000千円）

- (1) 函館まち巡りスタンプラリー 市内10か所
- (2) 函館まち巡りマップ（スタンプ台紙） 35万部
- (3) フォトスポット 10か所（22体）
- (4) 市電コラボ
  - ・市電ラッピング
  - ・車内広告
  - ・C V車内アナウンス
  - ・バス・市電共通1日乗車券の発行
- (5) 歓迎フラッグ・バナー掲出 JR函館駅・函館空港など394枚



## 今後の方向性

人気コンテンツとタイアップした誘客イベントや観光プロモーションについて、引き続き検討する。



# 令和6年度の主な事業

事業名	コンベンション誘致推進費	事業費	2,657千円
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる		
施策	(12) MICE誘致		

## 事業目的

各商談会への参加および市単独での学会・学会事務局への訪問などのコンベンション誘致活動を行うほか、インセンティブツアーへの歓迎対応を行い、観光消費の促進を図る。

## 事業内容

### (1) MICE誘致商談会等への参加

■北海道MICE誘致推進協議会役員会および実務者会議への出席

■各商談会への出席

- ・北海道MICE誘致推進協議会主催 MICE懇談会/商談会
- ・IME (国際MICEエキスポ)(東京)

### (2) MICE開催候補者訪問活動

- ・内 容：コンベンション開催に向けた要望等の聴取
- ・件 数：2件

### (3) コンベンション関係者招へい

- ・内 容：コンベンション開催に向けた市内施設の視察対応
- ・件 数：2件

### (4) インセンティブツアー歓迎事業

- ・ツアー参加者への贈呈品 30～40名分
- ・ツアー団体へのアトラクション助成 22,000円
- ・ツアー参加者へのウェルカムカード作成

### (5) その他コンベンション活動

『日本工学会年報』への広告掲載

## 今後の方向性

地域への経済波及効果の高い、大規模医療系学会にフォーカスした誘致活動を行うことを検討。

# 令和6年度の主な事業

事業名	海外観光プロモーション（アジア）	事業費	22,535千円
基本方針	2 観光の繁閑差を是正する		
施策	(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み		

## 事業目的

これまで実績のある中国、台湾、東南アジア諸国について、春節などの大型休暇といった時期を見据えた誘客や、雪が降らない国々への冬のコンテンツの提案など、秋冬のコンテンツやイベントの情報発信を行い、閑散期の函館観光の起爆剤となるよう、誘致を推進する。

## 事業内容

### (1) 東アジア

- 中国プロモーション事業  
現地旅行会社・航空会社等訪問
- 台湾・シンガポールプロモーション事業  
現地旅行会社・航空会社等訪問
- 台湾「台北国際旅行博」（台北）出展
- 台湾デジタルプロモーション事業
  - ・内容：現地旅行会社HP、SNSへの広告掲載
  - ・広告掲出先：雄獅旅行社、旅天下旅行社、康福旅行社

### (2) 東南アジア

- フィリピン「Travel Tour Expo2025」（マニラ）出展
- タイ「日本東北観光フェア」（バンコク）への参画
  - ・主催：東北観光推進機構
  - ・内容：ブース出展、  
現地旅行会社向けセミナー・商談会出展
- ベトナム旅行会社招請事業
  - ・実施時期：10月頃
  - ・招請人数：4名

### (3) その他

- 観光PR動画制作事業

## 今後の方向性

アジア市場において地方都市である函館が飽きられないためには、継続的なプロモーションによって常に新たな情報を提供していくことが重要であることから、令和7年度以降も引き続きプロモーションを実施していく。

# 令和6年度の主な事業

事業名	中国デジタルプロモーション	事業費	9,283千円
基本方針	2 観光の繁閑差を是正する		
施策	(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み		

## 事業目的

中国はコロナ前の令和元年度まで本市の外国人宿泊人数調べにおいて、直行便が就航している台湾に次ぐ2番目に位置しており、成長率も高い市場の一つであった。アフターコロナにおいて諸外国に比べると海外旅行解禁の動き出しが鈍かったが、令和5年8月にはそれまで規制されていた日本への団体旅行が解禁となり、今後の本格回復に向けPRを強化すべき時期であることから、KOLのSNS等を活用したプロモーションを実施する。

## 事業内容

### (1) KOLを活用した旅行博観光PR事業

過去実施してきたKOLを活用した情報発信と現地旅行博でのPRを組み合わせた観光プロモーションとして、広州で開催される旅行博（広東国際旅游産業博覧会：BtoBおよびBtoC向けイベント）へブース出展し、集客力を高めるためイベント内で実施されるステージイベントにはこだて観光大使である中国人KOLの林萍在日本氏が登壇し、函館の観光についてプレゼンを行う。

ステージイベント終了後はブースイベントにも参加し、3日間にわたり函館観光PRを実施する。これまで本市事業と他事業を含め10回以上の本市訪問歴のある林萍在日本氏だからこそ知っている函館の魅力を語り、中国人観光客の本市訪問意欲の向上を狙う。

### (2) WeChatミニプログラム管理・運營業務

令和4年度に開設したWeChatミニプログラムの管理・運営に加え、WeChatミニプログラム（ミニアプリ）の利用率を向上させるため、WeChatアカウントの開設を行う。

## 今後の方向性

令和7年度以降も中国は引き続き重要市場であると見込まれ、中国人観光客の本格回復に向け誘客プロモーションに注力するため、同規模以上の事業実施が必要と考えられる。

# 令和6年度の主な事業

事業名	秋季・冬季イベント	事業費	89,539千円
基本方針	2 観光の繁閑差を是正する		
施策	(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出		

## 事業目的

観光入込客数の少なくなる秋季・冬季における魅力の創出と地域ブランド形成を推進し、観光入込客数の増加に繋げるため、各種イベントを開催する。

## 事業内容

### (1) はこだてグルメサーカス2024

- ・実施団体：はこだてグルメサーカス実行委員会
- ・構成団体：函館市、函館商工会議所、  
函館国際観光コンベンション協会、  
函館朝市協同組合連合会、  
北海道新聞函館支社
- ・開催期間：9月7日（土）～9月8日（日）
- ・開催場所：はこだてグリーンプラザ、太陽パーキング
- ・開催内容：函館と縁のある地域による飲食・物販・観光PRブース、ステージイベント（参加自治体による観光PRイベント等）

### (2) はこだてMOMI-Gフェスタ

- ・開催期間：10月18日（金）～11月4日（月）
- ・開催場所：香雪園（見晴公園内）
- ・開催内容：カエデ並木、紅葉、園亭等のライトアップ、各種体験会、着物ファッションショー、紅葉フォトコンテスト

### (3) 2024はこだてクリスマスファンタジー

- ・実施団体：はこだてクリスマスファンタジー実行委員会
- ・構成団体：函館国際観光コンベンション協会（事務局）、  
函館市、函館商工会議所ほか
- ・開催期間：11月30日（土）～12月25日（水）
- ・開催場所：金森赤レンガ倉庫およびその周辺、  
函館港大町緑地(緑の島)ほか
- ・開催内容：クリスマスツリーの設置、  
スーパバーの設置、  
ツリーイルミネーション点灯、  
花火打上げ、  
天使たちのクリスマス絵画展、  
その他各種協賛イベント、  
プレミアムレッドツリー



# 令和6年度の主な事業

事業名	秋季・冬季イベント	事業費	89,539千円
基本方針	2 観光の繁閑差を是正する		
施策	(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出		

## 事業内容

### (4) 2025はこだて冬フェスティバル

- ・実施団体：はこだて冬フェスティバル実行委員会
- ・構成団体：函館市，  
函館国際観光コンベンション協会，  
函館商工会議所，  
北海道新聞函館支社ほか
- ・開催期間：11月30日（土）～2月28日（金）
- ・開催場所：二十間坂，八幡坂，開港通，函館駅前広場，  
函館港大町緑地(緑の島)
- ・開催内容：①はこだてイルミネーション  
②はこだてひかりのガーデン  
③はこだて冬花火  
④その他各種協賛イベント



### (5) 第6回湯の川冬の灯り

- ・実施団体：湯の川冬の灯り実行委員会
- ・構成団体：函館湯の川温泉旅館協同組合，  
湯川商店街振興組合，  
函館商工会議所，  
湯川温泉商工親和会，  
函館国際観光コンベンション協会，  
函館市
- ・開催期間：12月1日（日）～2月28日（金）
- ・開催場所：湯の川足湯および中環状通
- ・開催内容：イルミネーション装飾，ライトアップ  
点灯時間 日没～22時



## 今後の方向性

アートをテーマとした誘客イベントの検討や冬季イベントの見直し検討を実施。訪問者数の計測や、満足度の把握等を行い、事業内容の検証や改善を検討していく。

# 令和6年度の主な事業

事業名	国内観光プロモーション（教育旅行）	事業費	1,942千円
基本方針	2 観光の繁閑差を是正する		
施策	(3) 教育旅行誘致による繁閑差の是正		

## 事業目的

従来来訪のあった北東北地方に加え、東北全域・関東圏・中部圏・関西圏とJRの連合体輸送（修学旅行団体割引）の対象エリアや航空機の直行便発着エリアへの誘致活動を拡大し、幅広いエリアでの方面変更を狙う。

## 事業内容

### (1) 旅行代理店・学校へのプロモーション

- ・主 催：函館市
- ・連 携：函館国際観光コンベンション協会，交通事業者，渡島総合振興局等
- ・実施地域：東京・埼玉・神奈川
- ・訪問件数：調整中

### (2) 教育旅行説明会・相談会等への参加

- ・主 催：北海道観光機構，JR北海道
- ・実施地域：宇都宮・山形／東京・大阪

### (3) 教育旅行誘致PR冊子の刷新

- ・名 称：「教育旅行版Goo-Route Hakodate」
- ・発行部数：2,000部

## 今後の方向性

自然体験から地域の特性を学ぶモデルルートや、キャリア教育として函館市の高等教育機関および地域の産業について学ぶモデルルートの紹介などをツールを使って周知し、各エリアの方面変更を狙う。

# 令和6年度の主な事業

事業名	観光大使関係経費	事業費	68千円
基本方針	3 函館観光を盛り上げる人を増やす		
施策	(2) 函館市民が函館の魅力を再発見できる環境づくりを進める		

## 事業目的

Instagramを活用し、函館の写真を広く国内外に発信することで函館の認知度向上を図る取り組みで、誰もがいつでも函館の魅力をPRすることができる制度として、情報の拡散力が高く、かつ、若年層の使用頻度が高い媒体を活用し、「はこだて観光大使制度」と並行して運用することで、さらなる認知度拡大を図ることを目的とする。

## 事業内容

函館で撮影した写真とともに、函館への愛（函館の好きなおところなど）を語った投稿をし、「#ハコラブ」等のタグ付けや「はこぶら」公式アカウントのフォローなどの条件を満たした投稿の中から、特に函館愛を感じられた投稿5件を毎年「はこぶら」で紹介する。

- ・対象期間：毎年1月～12月（R6年度は4月～）
- ・特典：「はこぶら」で紹介された方5名に対し、お礼品として函館の特産品などを贈呈



## 今後の方向性

さらなる認知度向上を図るため、Instagramのストーリーズやリールでの投稿も検討する。

# 令和6年度の主な事業

事業名	出前講座・学校教育	事業費	0千円
基本方針	3 函館観光を盛り上げる人を増やす		
施策	(1) 観光の重要性の市民理解向上に向けた取組み		

## 事業目的

函館における観光の位置づけ・重要性について函館市民の理解を深めるため、図解やイラストなどを用い分かりやすさを重視した方法で発信を行う。

## 事業内容

### (1) 出前講座・講演

- ・内容：市の観光の取組みに関心のある団体等に対し、出前講座や講演の機会を捉えて観光基本計画の周知を行う。
- ・回数等：2回，80人

### (2) 学校教育

- ・内容：市内の大学，高校等における観光に関する授業や総合的な学習の時間などにおいて，市職員が函館市における観光の取組みについて説明を行い，若年層における理解促進を図る。
- ・回数等：3回，120人



## 今後の方向性

市民理解の促進には継続的な取組みが必要であるため，本取組を継続するとともに，市民アンケートの結果を分析しながら，効果的な発信方法を検討したい。